

月・考査等	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	
	普通科	1	地理・歴史	歴史総合	2	詳述 歴史総合			
科目の目標		近現代史を中心とする世界の歴史を初資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させる。現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。							
単元名	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など		
		知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
4	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動	・16世紀におけるアジア各地の対帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解させる。	・アジアの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	・アジア各地に成立した大帝帝国を比較し、その特徴を考察し、表現している。 ・ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察する。	・アジアの国々を結んでいた貿易のあり方について追求しようとする。 ・「大航海時代」の結果としてすすんだ「世界の一体化」=現代のグローバル化の共通点と相違点を見出そうとしている。	ノート レポート 白地図で基本的な地形を把握する。 DVDの感想	新詳歴史総合(浜島書店) DVD「世界遺産」	各地の民族性、宗教が地域形成に大きく影響を与えていることに気づかせる。	◎ ◎ ○
5	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	・ヨーロッパで成立した主権国家体制と各国の国家の解くなどについて理解する。 ・ウィーン体制がめざしたものと、自由主義やナショナリズムが目指したものが対立していく構造を理解している。	・イギリスで産業革命が起こった背景や社会の変化に着目、資本主義社会の問題点を観る観ることができる。 ・「東方問題」に関係する国々と、問題に対する各国の論理を理解している。	・アメリカ独立革命がその後の世界に与えた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・19世紀の文化・科学と社会の変容を、具体的な例を挙げながら表現している。	・アメリカ独立革命とフランス革命によって生み出された理念や考え方について追究しようとしている。 ・今日のアメリカ合衆国における黒人差別の問題と南北戦争が結びつく構造を見出そうとしている。	グループ協議 タブレットで調べ学習 ワークノート	地球儀 タブレット	グループ協議を通して、お互いの意見を交換し合う。	○ ◎ ◎ ○
中間考査									
	第3章 アジアの変容と日本の近代化	・大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯を理解する。 ・明治新政府が諸外国とどのような関係を築こうとしたか、理解する。	・中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解している。 ・四民平等へ向けた諸改革を理解し、文明開化の風潮と広まりを整理理解する。	・大政奉還の上表や、五箇条の誓文の史料を読み、新政府の方針について考察する。 ・日本が導入した欧米からの新技術について具体的に考察している。	・新政府の方針をとらえるとともに、諸藩がどのように対応したかをそれぞれの立場に立って探求しようとする。 ・岩倉使節団が具体的にどのような国々を訪れ、何を視察して帰国したのか調べ、協議する。	発表 各小単元について内容をまとめ、発表する。 タブレットで調べ学習	タブレット	発表を通して、友人の意見・考え方を理解する。	○ ◎ ○
6	第4章 帝国主義の時代	・自由民権運動の展開について、その目的を整理し、理解する。 ・日清・日露戦争によって国際的な地位を高めた我が国が、東アジアや欧米との関係にどのような変化を生じさせたかについて、考察し、理解する。	・大日本帝国憲法の成立過程を理解し、その下で成立した制度や諸法典の内容を理解する。 ・日本の産業革命の特色を整理するとともに、就学率が向上し、学校制度がどのように展開したかを理解する。	・松方財政について、政策の内容を理解し社会にどのような影響を与えたか、考察する。 ・条約改正交渉の過程を、当時の国際環境と関連づけて考察させる。	大日本帝国憲法の資料を読み、現在の日本国憲法と比較して共通点や相違点を追求しようとする。 ・帝国主義について、列強の植民地化という観点を多角的にとらえて追求しようとしている。	グループ協議 ノート グループ協議 ノート ワークノート	タブレット	グループ協議を通して、お互いの意見を交換し合う。	◎ ○ ○
期末考査									
7		・資料を活用し、戦争や交易における結びつきの変化が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解する。	・普通選挙や女性の参政権を求める動きが国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解している。	・第一次世界大戦後の植民地問題や、生活様式の変化とその脱気用について考察する。	19世紀後半から20世紀にかけての国際関係の緊密化について見直しを持って学習に取り組もうとしている。	グループ協議 ノート		グループ協議を通して、お互いの意見を交換し合う。	◎ ○ ○
8						歴史上の人物について調べ、レポートを作成する	タブレット	優秀作品は、廊下に貼り出して展示する。	
課題テ									
9	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解する。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制による国際秩序のあり方を理解する。 ・アジア・アフリカ地域の民族運動の展開が、今日の中東情勢に大きく関係していることを見出そうとしている。	・ロシア革命の内容と、日本がシベリア出兵を行ったの理由を理解している。 ・アジア各地域における民族運動とその指導者について理解する。 ・日本の普通選挙実現にいたる護憲運動と、政府側の対応の推移を理解する。	・ヨーロッパ各国が国際協調路線を掲げた背景を考察する。 ・図や写真、票などを使いながら、日本における中間層の出現や都市化による変化を表現している。 ・視聴覚教材を通して、戦争のあり方が変化したことを実感し、その悲惨な状況について、理解する。	・国際連盟と国際協調路線の中で結ばれた条約について、その成果と限界を追求しようとしている。 ・第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開について、国際社会の状況と比較しながら検討しようとしている。	グループ協議 ノート DVDの感想	DVD「映像の世紀」第2集	それぞれの感想を、互いに見せ合って、寄り深く考察するように指導する。	○ ◎ ○
10	第6章 経済危機と第二次世界大戦	・第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。 ・20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	・世界恐慌の発生原因・過程を理解する。 ・ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか年表にまとめている。	・世界恐慌中の各国の鉱工業生産指数のグラフから、国ごとの回復状況を比較し、理解する。 ・2.26事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめ、その動向を表現する。	・世界恐慌は、国際秩序にどのような変化をもたらしたか、資本主義国、社会主義国の市展から多面的・多角的に追求しようとしている。 ・第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるか追求しようとする。	年表作成 グループ協議 ノート ワークノート	タブレット	グループ協議を通して、互いの意見や考えを交換し合う。	○ ◎ ○
中間考査									
	第3章 グローバル化と私たち 7 冷戦と脱植民地化	・戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解する。	・国際社会が平和と安定をどのようにつけて構築しようとしているか理解している。	・国際連合の仕組みと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどのように対応していくか考察する。	・米ソの巨大化と、アジア諸国の独立・復興について、戦後の国際関係を考察しようとする。	ノート			◎ ○ ○
11		・連合国は、どのような面で日本の民主化を進めていったのか理解する。 ・日本の主権回復のため、政府がどのように努力し、国際社会へ復帰したかを理解する。	・日本の占領政策について、年表にまとめている。 ・アメリカの対日占領政策が転換したことで、日本の独立達成、日米安保条約の締結に至ったことを、経済面と関連づけて理解する。	・日本国憲法の特徴と成立の意義を認識し、日本を民主主義的な国家として再建しようとする過程を、政治的側面を中心に考察する。	経済の民主化、労働運動の進展、農地改革を多面的に考察し、戦後処理のあり方を追求しようとしている。	年表作成 ノート ワークノート	タブレット		○ ◎ ○
期末考査									
12	8 多極化する世界	諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。	宗教、ジェンダー、移民、難民などの問題について、資料を通して理解する。	宗教、ジェンダー、移民、難民などの問題について、具体的にどのような問題が起こっているのか探求する。	宗教、ジェンダー、移民、難民などの問題について、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	レポート DVDの感想	DVD「映像の世紀」第5集	それぞれの感想を、互いに見せ合って、寄り深く考察するように指導する。	○ ◎ ○
1		・東西冷戦の対立と、ヨーロッパ諸国の復興、アジア・アフリカでの第三世界の形成という、激動の時代を多角的に理解している。	・米ソの核開発競争について、理解する。 ・第三世界の形成が、国際社会に与えた影響を理解する。	・「雪解け」や米ソ関係の冷え込み、中ソ対立など外交関係の変化について考察する。	・「スターリン批判」が東側陣営に与えた影響を追求しようとする。 ・中東戦争、パレスティナ問題などの中東情勢について追求しようとする。	レポート ノート			◎ ○ ○
2	9 グローバル化する世界	・戦後復興から、高度経済成長期に至った過程や国民生活の変化を知る。 ・冷戦終結後の世界の政治・経済の動向、これからの国際社会における日本の役割について考え、持続可能な社会について考察する。	・核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解する。 ・ゴルバチョフによるペレストロイカのとりくみと、新思考外交を理解する。 ・開発独裁の国々について、理解する。	・日韓基本条約・日中共同声明の資料を読み、内容を理解する。 ・ユーゴスラヴィア紛争の背景にある宗教・民族分布の複雑さを考察する。 ・日本のバブル崩壊以後の日本経済について考察する。	・高度経済成長のひずみ、諸課題について探求しようとする。 ・日本の国際貢献のあり方の変化に、経済面などの日本の国際社会における影響力の変化を見出そうとしている。	グループ協議 ノート DVDの感想 ワークノート	DVD「映像の世紀」第10集	グループ協議を通してお互いの意見を交換する。	○ ◎ ○
学年末考査									
3	現代的な諸課題の形成と展望	・現代世界の特徴や課題について、自らテーマを見つけてレポートにまとめ、報告・発表することができる。	・経済格差などの課題について、どのように対応していけばよいかを理解している。	・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、対応を考察する。	・近隣諸国との関係について、防衛強化の面、平和と安全の面からよりよいあり方を追求しようとする。	レポート			○ ◎ ○